

【青森県深浦町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- (1)児童生徒自身がICTを自由な発想で活用できるようにし、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成する。
- (2)ICTが持つ特性を最大限活用し、誰一人取り残すことなくきめ細かな支援をし、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、学習指導要領で定める「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の下、令和2年度には、学習者用端末及び指導者用端末の整備を完了した。また、教室への無線LAN整備及び電源キャビネットの整備も行い、校内通信ネットワークのためのインターネット回線(各校1Gbpsベストエフォート)を整備し学習者用無線LANの運用を開始した。さらには、町内小・中学校に電子黒板等の大型提示装置の整備を行い、学校におけるICT環境の充実を図ってきた。

GIGA第1期では、ICT機器を活用した授業改善に向けた研修を実施し、汎用クラウドツールを活用した授業改善が進められた。ほかにもタブレット用プリンタやAIドリルの整備も行い、タブレット端末の活用機会が増加したものの通信量の増大により学習用無線LANの通信環境が不安定で速度が十分に確保されない場面も見られるようになった。

GIGA第2期では、ネットワークアセスメントを行い、学習者用無線LANの課題を把握し授業等で安定的に利用できる通信環境を整備する。また、1人1台端末の持ち帰りを開始し、主体的に学習に取り組み、個別最適な学びの充実に向けた機会を創出していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

【1人1台端末の積極的活用】

AIドリル等ICT活用に関する研修会を年に1回実施する。また、タブレット端末の持ち帰りを開始し、校内及び家庭で汎用クラウドツールやAIドリルを活用する機会を増やし、情報活用能力の育成に取り組む。

【個別最適・協働的な学びの充実】

児童生徒がAIドリルを自分自身の理解度や進度に合わせて取り組んだり、「Microsoft Teams」や電子黒板等の大型提示装置を活用し、共同で作成・編集を行う活動や多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動を通して個別最適で協働的な学びの充実に

努める。

【学びの保障】

様々な事情により登校が難しい児童生徒や、特別な配慮が必要な児童生徒の実態に合わせて、1人1台端末を活用し、個に応じた支援を行っていく。

上記の方策を実施していくために、端末の更新を行い、1人1台端末の環境を維持していく。